

みずほマーケット・トピック(2025 年 9 月 26 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

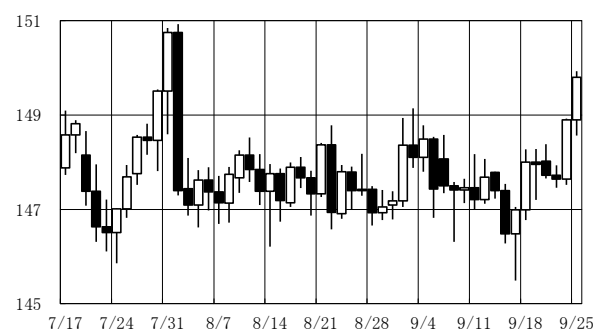
※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

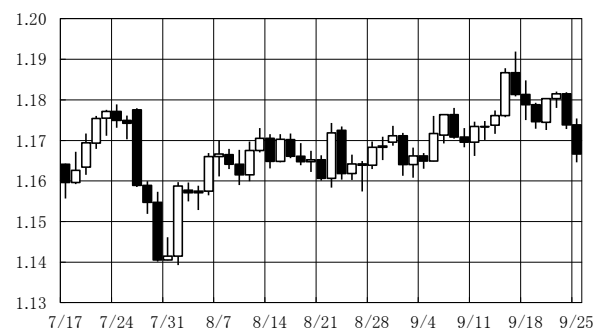
- 今週のドル/円は週半ば以降に水準を切り上げた。週初22日、148.12円でオープンしたドル/円は、148円台前半でもみ合う展開。海外時間は、ドル安相場が重しになり147円台後半に値を下げた。23日、ドル/円は本邦休場で薄商いの中で、147円台後半で小動き。海外時間は、パウエルFRB議長によるややハト派的な情報発信や米株安などが重しとなり、一時週安値となる147.47円まで値を下げた。24日、ドル/円はドルの買い戻しが支援材料となり、148円台に乗せる展開。海外時間は、米8月新築住宅販売件数の好調な結果や米金利上昇が好感され、148円台後半に続伸した。25日、ドル/円は材料難の中で、148円台後半でレンジ推移。海外時間は、米4~6月期GDP(確報)や米新規失業保険申請件数などが良好な結果になり、米金利上昇に連れる格好で150円手前まで上値を追いかけた。本日のドル/円は、引き続き150円手前で取引されている。
- 今週のユーロ/ドルは週前半こそ上昇も、その後は反落した。週初22日、1.1735でオープンしたユーロ/ドルはドル売り相場が好感され、1.18台に乗せた。23日、ユーロ/ドルは一時週高値となる1.1820を付けたものの、その後は材料に欠ける展開の中で、1.18を挟んでレンジ推移した。24日、ユーロ/ドルは独9月IFO企業景況感指数の軟調な結果やウクライナ情勢悪化懸念の高まりに加え、米金利上昇などが嫌気され、1.17台前半に下落した。25日、ユーロ/ドルは複数の米経済指標の強い結果を受けた米金利上昇が重しになり、一時週安値となる1.1646に続落した。本日のユーロ/ドルは、ドル買い相場の一服を受けて、1.16台後半で取引されている。

		前週末	今 週				
		9/19(Fri)	9/22(Mon)	9/23(Tue)	9/24(Wed)	9/25(Thu)	
ドル/円	東京9:00	147.94	148.12	147.74	147.60	148.79	
	High	148.27	148.37	147.93	148.91	149.92	
	Low	147.20	147.66	147.47	147.53	148.56	
	NY 17:00	147.95	147.73	147.65	148.89	149.80	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1790	1.1735	1.1801	1.1814	1.1741	
	High	1.1794	1.1804	1.1820	1.1819	1.1754	
	Low	1.1729	1.1727	1.1780	1.1729	1.1646	
	NY 17:00	1.1748	1.1804	1.1815	1.1738	1.1665	
ユーロ/円	東京9:00	174.48	173.82	174.41	174.34	174.62	
	High	174.50	174.36	174.46	174.76	174.93	
	Low	173.50	173.82	174.11	174.27	174.50	
	NY 17:00	173.79	174.36	174.44	174.77	174.71	
日経平均株価		45,045.81	45,493.66	-	45,630.31	45,754.93	
TOPIX		3,147.68	3,163.17	-	3,170.45	3,185.35	
NYダウ工業株30種平均		46,315.27	46,381.54	46,292.78	46,121.28	45,947.32	
NASDAQ		22,631.48	22,788.98	22,573.47	22,497.86	22,384.70	
日本10年債		1.64%	1.65%	-	1.64%	1.64%	
米国10年債		4.13%	4.15%	4.11%	4.15%	4.17%	
原油価格(WTI)		62.40	62.28	63.41	64.99	64.98	
金(NY)		3,705.80	3,775.10	3,815.70	3,768.10	3,771.10	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、10月1日(水)に9月ISM製造業景気指数が、3日(金)に同非製造業指数が公表予定になっている。前回8月の結果はそれぞれ48.7、52.0といずれも7月分を上回った。製造業は6か月連続での中立水準(=50)割れ、非製造業は3か月連続での中立水準超えと明暗が分かれている。特に製造業では、関税に伴う悪影響を指摘するコメントが多数寄せられたことが話題を集めている。ISM指数と一定の相関性を持つS&P Global PMI(速報)は、製造業、非製造業いずれも前月からやや軟化した。なお、ブルームバーグの事前予想では、9月の結果に関し製造業指数を49.2、非製造業指数を52.0と見込んでいる。
- 本邦では、30日(火)に日銀金融政策決定会合の主な意見(9月会合分)が公表される予定である。既報の通り9月会合は、市場予想通りに政策金利の据え置きが続いた。しかし、ETF等の処分に関する決定がなされたことはサプライズとなった。加えて、高田委員と田村委員は+25bpの利上げを主張した。一見すると双方ともどちらかと言えばタカ派的なサプライズではあった。しかしながら、注目を集めた植田日銀総裁による会見に関しては、総じて利上げ再開に対し慎重であり、ハト派的であったとの評価が大勢である。主な意見では利上げ支持の背景に加え、利上げを支持しなかった各委員の見解の双方を確認することが必要になろう。

	本 邦	海 外
9月26日(金)	・9月東京消費者物価指数	・米8月個人所得/支出 ・米8月個人消費支出デフレーター ・米9月ミシガン大学消費者マインド(確報)
29日(月)	・7月景気動向指数(確報)	・ユーロ圏9月消費者信頼感(確報) ・米8月中古住宅販売仮契約
30日(火)	・日銀金融政策決定会合 主な意見(9月会合分) ・8月鉱工業生産(速報) ・8月小売売上高 ・8月住宅着工件数	・独9月消費者物価指数(速報) ・米7月FHFA住宅価格指数 ・米8月JOLT求人件数 ・米9月コンファレンスボード消費者信頼感
10月1日(水)	・7～9月期日銀短観 ・9月製造業PMI(確報)	・ユーロ圏9月製造業PMI(確報) ・ユーロ圏9月消費者物価指数(速報) ・米9月ADP雇用統計 ・米9月ISM製造業景気指数
2日(木)	・9月消費者態度指数	・ユーロ圏8月失業率
3日(金)	・8月失業率/有効求人倍率 ・9月非製造業PMI(確報)	・ユーロ圏9月非製造業PMI(確報) ・ユーロ圏8月生産者物価指数 ・米9月雇用統計 ・米9月ISM非製造業景気指数

【当面の主要行事日程(2025年10月～)】

自民党総裁選(10月4日投票)
 FOMC(10月28～29日、12月9～10日、1月30～31日)
 日銀金融政策決定会合(10月29～30日、12月18～19日、1月22～23日)
 ECB政策理事会(10月30日、12月18日、2月5日)

国際為替部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2025年9月24日	ユーロの基軸通貨性を再考する～global euro～
2025年9月22日	日銀金融政策決定会合～10月利上げは堅いのか？～
2025年9月19日	週末版
2025年9月18日	FOMCを終えて～可視化される独立性毀損～
2025年9月17日	日銀金融政策決定会合プレビュー～自動車、読めず～
2025年9月16日	日米財務大臣共同声明の読み方～2つの論点～
2025年9月12日	週末版(ECB政策理事会を終えて～基本は現状維持、利上げの機を窺う～)
2025年9月11日	警戒すべき「貰い事故」～海外からの財政リスク相場～
2025年9月10日	円相場の需給環境について～頭打ちとなるヒト関連～
2025年9月9日	誰が首相になっても「変わらぬ3つの論点」
2025年9月8日	続・対米投資5500億ドル合意の現在地
2025年9月5日	週末版
2025年9月4日	遂に「利上げ再開」の兆しも出始めたECB
2025年9月3日	対米投資5500億ドル合意の現在地
2025年8月28日	週末版
2025年8月27日	円金利上昇の背景はどこに～円安終わらず～
2025年8月25日	ジャクソンホール経済シンポジウムの読み方
2025年8月22日	週末版(「ユーロ圏の「人手不足」はどうなったのか？～「需要不足」への問題意識は高止まり～)
2025年8月20日	4～6月期、「米国離れ」の真相～TICデータ～
2025年8月19日	上半期の円の需給環境について～改善傾向～
2025年8月18日	欧州の外交成果が垣間見えた米露首脳会談
2025年8月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年7月分)
	週末版(「家計部門の投資意欲」に腰折れ懸念～「海外→国内」のローテーションはあるか？～)
2025年8月14日	ニクソン・トランプ比較論～争点は「覇権国の管理コスト」～
2025年8月13日	ニクソン・トランプ比較論～恐れるべき結末～
2025年8月12日	過剰反応すべきではないFRB人事の影響力
2025年8月8日	週末版
2025年8月5日	米EU交渉の評価～妥協か、英断か～
2025年8月4日	遂に現れた関税の影響～雇用統計の読み方～
2025年8月1日	週末版(日銀会合を終えて～霧は完全に晴れずも10月利上げが視野に～)
2025年7月31日	FOMCを終えて～年末以降、非常に厄介な状況に～
2025年7月29日	「米国離れ」の検証～5月は過去最大の資本流入～
2025年7月28日	対米投資利益の解釈～「90%取られる」の意味～
2025年7月25日	週末版(ECB政策理事会を終えて～6月から状況変わらず～)
2025年7月23日	日米関税交渉の合意について～日銀への影響あり～
2025年7月22日	参院選を終えて～現状と展望の整理～
2025年7月18日	週末版(日銀プレビュー～「前門の国内政治、後門の米国政治」～)
2025年7月16日	日本版トラスショック再考～脆弱性は否めず～
2025年7月15日	日本版トラスショック再考～現実味を考える～
2025年7月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年6月分)
	日本政治の現状と展望～日本売りの材料になる政治～
2025年7月11日	週末版
2025年7月10日	追い詰められているのは米国も一緒～TACOの前提～
2025年7月9日	関税の緩衝材となる円安～日銀の判断は～
2025年7月8日	膠着する家計の投資意欲とその今後
2025年7月7日	物価高対策を巡る不可思議～王道は利上げ～
2025年7月4日	週末版
2025年7月3日	今、考えるユーロ/ドル相場の高値目途
2025年7月2日	インフレ適応が続く家計、諦観強まる若年世代
2025年7月1日	25年上期レビュー～「欧州の強さ」と「円の弱さ」～
2025年6月27日	週末版
2025年6月26日	NATO首脳会議～動き出した欧州の戦略的自律～
2025年6月25日	「米国離れ」は本当なのか～4月に起きていたこと～
2025年6月24日	衰えないスイスフラン～欧州資産へのローテーション～
2025年6月23日	目立ってきた日本の高インフレと中東リスクへの不安
2025年6月20日	週末版(FOMCを終えて～ドル/円相場への含意～)
2025年6月18日	貰かれなかった「べき」論～優しさの代償は？～
2025年6月16日	中東事変とドル/円相場への影響～円売り優勢～
2025年6月13日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年5月分)
	週末版(変わるドル凋落相場の背景～米国主導ではなく他国主導に～)
2025年6月12日	日銀会合プレビュー～「もう関与しない」を示す時～
2025年6月11日	円の基礎的需給環境について～暴落後の挙動～
2025年6月10日	新しい対内直投目標の読み方～「骨太の方針」～
2025年6月9日	為替政策報告書を受けて～年金運用への注文？～
2025年6月6日	週末版(ECB政策理事会を終えて～利下げ局面の終わり？～)
2025年6月4日	ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方
2025年6月3日	ECB政策理事会プレビュー～利下げは当然視できる？～
2025年6月2日	欧州再軍備と欧州版ハミルトン・モーメント
2025年5月29日	IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか？
2025年5月28日	34年ぶりの首位陥落～24年末対外純資産について～
2025年5月26日	懸念通りの米EU交渉～日本との違い～
2025年5月23日	週末版(ユーロ相場の現状について～堅調に潜むリスク～)
2025年5月22日	円金利上昇と為替相場についての所感
2025年5月21日	赤澤ベッセント会談3.0～争点化する自動車～
2025年5月19日	米国価格下げの影響～急性的ではなく慢性的～
2025年5月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年4月分)
	週末版
2025年5月15日	懲りないドル安ナラティブ～3度目の光景～
2025年5月14日	円の基礎的需給環境について～25年1～3月期～
2025年5月13日	経産省「デジタル経済レポート」を受けて～その②～
2025年5月12日	経産省「デジタル経済レポート」を受けて～その①～
2025年5月9日	週末版(米英合意を受けて～むしろ心配になる米EU交渉～)
2025年5月8日	FOMCを終えて～デュアルマンデートの拮抗～
2025年5月7日	逆「アジア通貨危機」観測の考え方
2025年5月2日	週末版(日銀会合を終えて～「何もわからず、何も決められず」の状況～)
2025年4月28日	EUの対米戦略について～「デジタル赤字への課税」も～
2025年4月25日	週末版
2025年4月24日	不確実性極まるIMF報告～WEOとGFSR～
2025年4月23日	最強通貨の地位が続くスイスフランからの教訓
2025年4月22日	加藤・ベッセント会談プレビュー～為替は争点なのか？
2025年4月18日	週末版(ECB政策理事会を終えて～6月スタッフ見通しの重要性を強調～)
2025年4月17日	マールアラウゴ合意の読み方～40年前の再現は不可能～